

日本画像認識協会セミナー

「犯罪捜査における画像認識技術の最新動向」

2015年

11月20日  13:10-15:50

ちよだプラットホームスクウェア 4階 402会議室
東京都千代田区神田錦町3-21

講演一

13:10～14:25

顔識別技術と監視カメラが産み出す「機械の目」の特性

講師：澤田雅之

元警察大学校警察情報通信研究センター所長、技術士

講演二

14:35～15:50

犯罪捜査における画像処理技術の活用

講師：舟橋 信

セキュリティ工学研究所 取締役

NPO デジタル・フォレンジック研究会 理事



一般社団法人 日本画像認識協会

講師のご紹介

「防犯カメラの映像」

講師：澤田雅之

元警察大学校警察情報通信研究センター所長
技術士（電気・電子部門）

<講演趣旨>

我が国の顔識別技術は、世界のトップランナーです。その識別精度と識別速度は、「人の目」を遥かに凌駕しています。このため、顔識別技術を用いて、監視カメラのライブ映像から指名手配犯を発見したり、防犯カメラの録画映像から犯人の身元を割り出すことは、既に実用の域に達しています。

>ここで問題となるのが、監視カメラや防犯カメラの映像品質です。顔識別技術の優れた性能を存分に引き出すには、顔識別技術の特性に適合した撮影システムの構築が欠かせないのです。そこで、顔識別技術の性能や特性、満たすべき映像品質について、具体例に基づき説明します。

講師：舟橋 信

セキュリティ工学研究所 取締役
NPO デジタル・フォレンジック研究会 理事

<講演趣旨>

今日、様々な画像処理技術が犯罪捜査に寄与している。この度の講演では、指紋自動識別システムや自動車ナンバー自動読取システムなど、画像処理技術を応用した各種システムの研究開発の経緯及び要素技術の開発について、ご紹介します。